

# 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させて  
いただきたくご案内いたします。  
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

## 記

### ◆ 変更実施日

平成23年12月2日（金）ご依頼分より

### ◆ 変更項目

|      |                 |                        |
|------|-----------------|------------------------|
| 検査項目 | カテコールアミン総       | アルドラーゼ                 |
|      | カテコールアミン3分画(尿中) | ビタミンB1                 |
|      | VMA(尿中)         | プロトロンビン時間(PT)          |
|      | HVA(尿中)         | 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT) |
|      | メタネフリン総         | トロンボテスト(TT)            |
|      | メタネフリン2分画       | ヘパプラスチンテスト             |
|      | 5-HIAA(尿中)      | フィブリノーゲン               |
|      | 抗インスリン抗体        | HLA検査                  |
|      | NSE(神経特異エノラーゼ)  | IL-1 (インターロイキン-1)      |
|      | ウイルス分離・同定       | 高感度TNF-                |

# 変更一覧表

| 案内書掲載頁 | 項目コードNo. | 検査項目            | 変更箇所 | 新  | 現  | 備考                       |
|--------|----------|-----------------|------|--|--|--------------------------|
| 31     | 0127 6   | カテコールアミン総       | 材 料  | 蓄尿   | 酸性蓄尿   | 劇物を含まない蓄尿添加剤の採取方法表記への変更。 |
|        |          |                 | 備 考  | 蓄尿の場合は、必ず所定用量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 | あらかじめ、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6N塩酸約1mLの割合で入れてください。酸性蓄尿されていないものはデータ低下が見られますので必ず酸性蓄尿(pH1.0～3.0)してください。 |                          |
| 31     | 0129 1   | カテコールアミン3分画(尿中) | 材 料  | 蓄尿   | 酸性蓄尿   |                          |
|        |          |                 | 備 考  | 蓄尿の場合は、必ず所定用量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 | あらかじめ、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6N塩酸約1mLの割合で入れてください。酸性蓄尿されていないものはデータ低下が見られますので必ず酸性蓄尿(pH1.0～3.0)してください。 |                          |
| 32     | 0134 0   | VMA(尿中)         | 材 料  | 蓄尿   | 酸性蓄尿   |                          |
|        |          |                 | 備 考  | 蓄尿の場合は、必ず所定用量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 | あらかじめ、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6N塩酸約1mLの割合で入れてください。酸性蓄尿されていないものはデータ低下が見られますので必ず酸性蓄尿(pH1.0～3.0)してください。 |                          |
| 32     | 0856 1   | HVA(尿中)         | 材 料  | 蓄尿   | 酸性蓄尿   |                          |
|        |          |                 | 備 考  | 蓄尿の場合は、必ず所定用量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 | あらかじめ、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6N塩酸約1mLの割合で入れてください。酸性蓄尿されていないものはデータ低下が見られますので必ず酸性蓄尿(pH1.0～3.0)してください。 |                          |

# 変更一覧表

| 案内書掲載頁 | 項目コードNo. | 検査項目       | 変更箇所           | 新   | 現  | 備考   |
|--------|----------|------------|----------------|---|--|--|
| 32     | 0136 4   | メタネフリン総    | 材 料            | 蓄尿  | 酸性蓄尿   |  |
|        |          |            | 備 考            | 蓄尿の場合は、必ず所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 | あらかじめ、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6N塩酸約1mLの割合で入れてください。酸性蓄尿されていないものはデータ低下が見られますので必ず酸性蓄尿(pH1.0~3.0)してください。 |  |
| 32     | 0137 1   | メタネフリン2分画  | 材 料            | 蓄尿  | 酸性蓄尿   | 劇物を含まない蓄尿添加剤の採取方法表記への変更。                           |
|        |          |            | 備 考            | 蓄尿の場合は、必ず所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 | あらかじめ、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6N塩酸約1mLの割合で入れてください。酸性蓄尿されていないものはデータ低下が見られますので必ず酸性蓄尿(pH1.0~3.0)してください。 |  |
| 32     | 0133 2   | 5-HIAA(尿中) | 材 料            | 蓄尿  | 酸性蓄尿   |  |
|        |          |            | 備 考            | 蓄尿の場合は、必ず所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 | あらかじめ、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6N塩酸約1mLの割合で入れてください。酸性蓄尿されていないものはデータ低下が見られますので必ず酸性蓄尿(pH1.0~3.0)してください。 |  |
| 38     | 6271 4   | 抗インスリン抗体   | 項 目<br>コードNo.  | 6395 8  | 6271 4   | 測定試薬の変更に伴う項目コード、項目名称、基準値、単位、検体量、保存、その他検査方法参考文献の変更。 |
|        |          |            | 項目名称           | インスリン抗体   | 抗インスリン抗体   |  |
|        |          |            | 検査方法           | RIA   | RIA PEG法   |  |
|        |          |            | 基 準 値<br>(単 位) | 0.4未満<br>(U/mL)   | 結合率 0.4未満<br>(%)<br>濃度 125未満<br>(nU/mL)  |  |
|        |          |            | 検 体 量          | 血清 0.3 mL   | 血清 0.4 mL  |  |
|        |          |            | 保 存            | 冷蔵  | 凍結   |  |

# 変更一覧表

| 案内書掲載頁 | 項目コードNo. | 検査項目                   | 変更箇所     | 新   | 現   | 備考  |
|--------|----------|------------------------|----------|---|---|---|
| 43     | 0049 8   | NSE<br>(神経特異エノラーゼ)     | 検査方法     | ECLIA   | RIA固相法  | 現試薬販売中止による測定試薬の変更。および検査方法、基準値、保存、検体量、備考、検査方法参考文献等の変更。                 |
|        |          |                        | 基準値(単位)  | 16.3以下<br>(ng/mL)   | 10以下<br>(ng/mL)                               |   |
|        |          |                        | 保存       | 冷蔵  | 凍結  |   |
|        |          |                        | 検体量      | 血清 0.5 mL   | 血清 0.2 mL                                     |   |
|        |          |                        | 備考       | 採血後、1時間以内に血清分離し冷蔵保存してください。溶血でのご依頼は避けてください。(溶血の場合、赤血球からNSEが逸脱して高値となります。) | 溶血でのご依頼は避けてください。(溶血の場合、赤血球からNSEが逸脱して高値となります。) |   |
| 56     | 0309 7   | ウイルス分離                 | 検査方法     | 細胞変性効果、血球吸着現象、赤血球凝集反応   | 細胞変性効果、血球吸着現象、ふ化鶏卵の羊水および漿尿液の赤血球凝集反応           | 検査方法表記の見直し。   |
| 56     | 0310 7   | ウイルス同定                 | 検体取り扱い方法 | 10ページをご参照ください。  |   | 検体取り扱い方法の説明文追加。   |
| 92     | 0434 1   | アルドラーゼ                 | 検査方法     | UV-酵素法  | UV-Rate法                                      | 測定試薬販売中止による測定試薬の変更。および検査方法、保存、検査方法参考文献等の変更。                           |
|        |          |                        | 保存       | 冷蔵  | 絶凍  |   |
| 103    | 0025 8   | ビタミンB1                 | 基準値(単位)  | 24～66<br>(ng/mL)  | 20～50<br>(ng/mL)                              | 基準値の見直しによる再設定。  |
| 115    | 6272 1   | プロトロンビン時間(PT)          | 検査方法     | 凝固時間測定法   | Quick一段法<br>(散乱光度法)                           | 検査方法を臨床検査項目分類コード(JLAC10)で用いられている一般的な表記にします。また、項目名称に一般的に用いられる略称を併記します。 |
| 115    | 0910 9   | 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT) | 検査方法     | 凝固時間測定法   | Langdell法<br>(散乱光度法)                          |   |
| 115    | 0908 1   | トロンボテスト(TT)            | 検査方法     | 凝固時間測定法   | Owren法  |   |
| 115    | 0924 3   | ヘパプラスチンテスト             | 検査方法     | 凝固時間測定法   | Owren法  |   |
|        |          |                        | 項目名称     | ヘパプラスチンテスト(HPT)   | ヘパプラスチンテスト                                    |   |
| 115    | 0905 0   | フィブリノーゲン               | 検査方法     | 凝固時間測定法   | トロンビン凝固時間法                                    |   |
|        |          |                        | 項目名称     | フィブリノーゲン(FIB)   | フィブリノーゲン                                      |   |
| 145    |          | HLA検査                  | 検体取り扱い方法 | 11ページをご参照ください。  |   | 検体採取方法の説明文追記。   |
| 162    | 8809 0   | IL-1<br>(インターロイキン-1)   | 検体量      | 血清 0.5 mL   | 血清 1.0 mL                                     | 検体量の見直しによる削減。   |
| 163    | C151 2   | 高感度TNF-                | 検体量      | 血清 0.5 mL   | 血清 1.0 mL                                     |   |

## カテコールアミン総(尿中) 他6項目

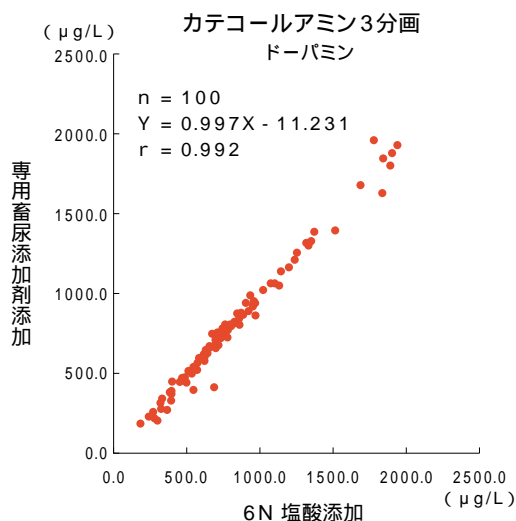
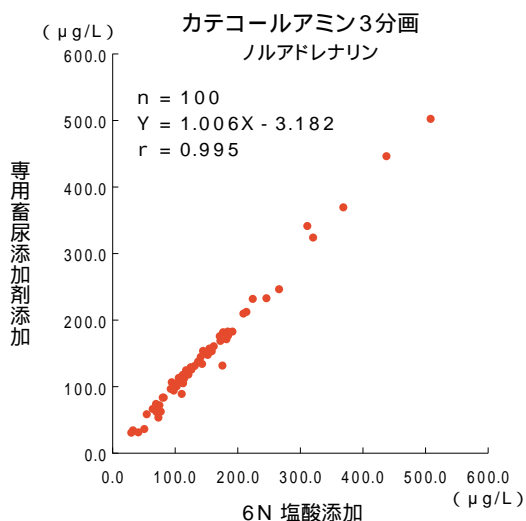
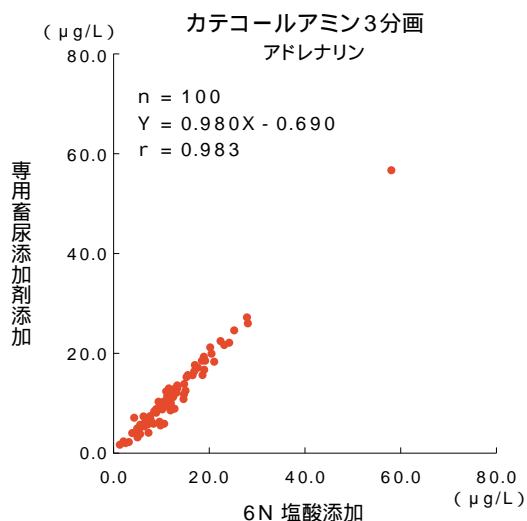
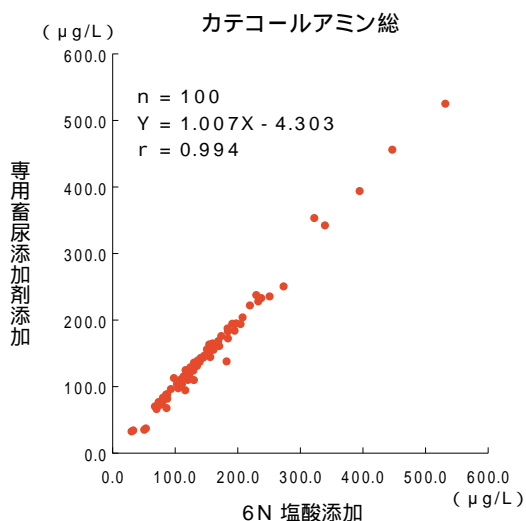
下記検査におきまして、劇物を含まない蓄尿添加剤が発売されており、弊社の検討におきまして、良好な検討結果が得られましたので、ご案内させていただきます。

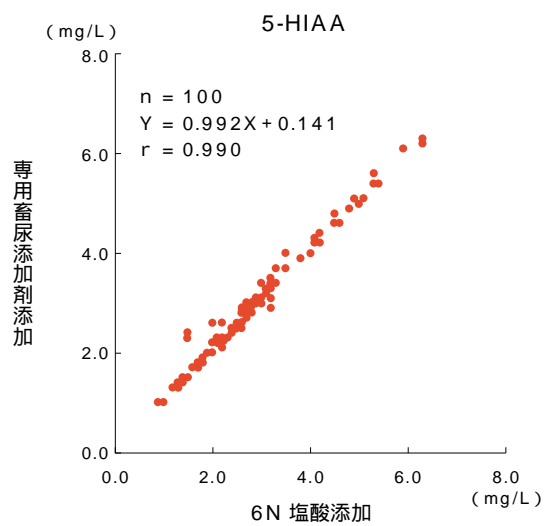
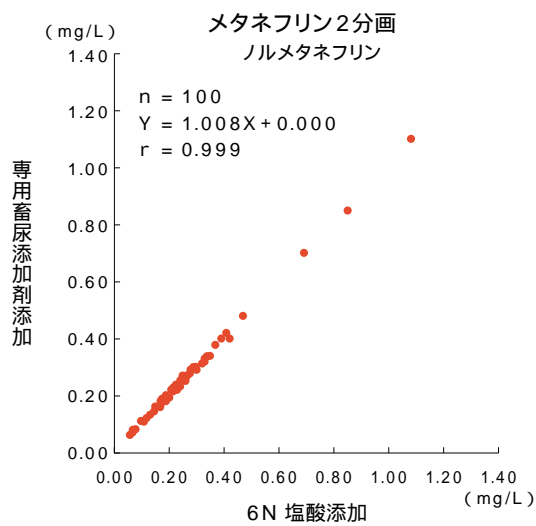
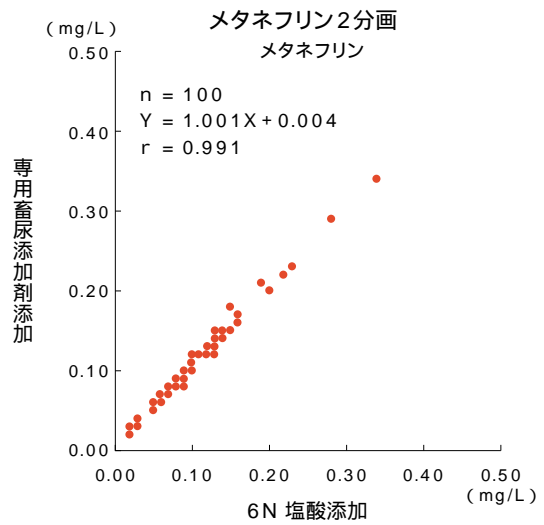
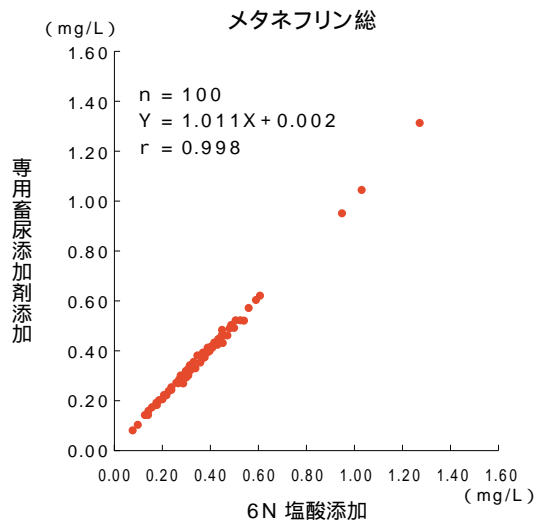
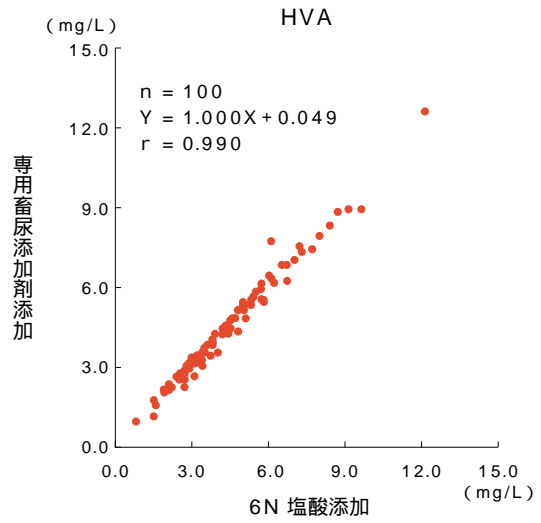
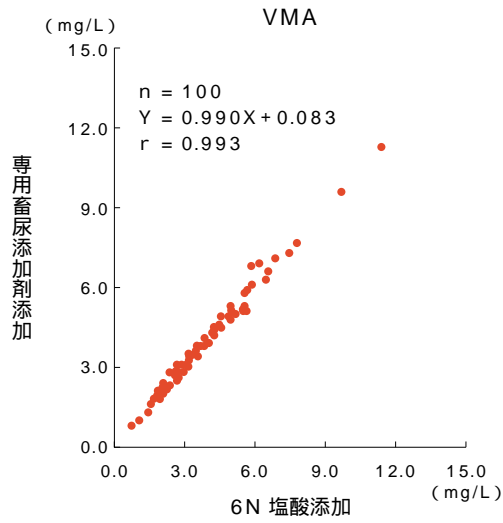
### 変更対象項目

| 項目コードNo. | 検査項目            |
|----------|-----------------|
| 0127 6   | カテコールアミン総       |
| 0129 1   | カテコールアミン3分画(尿中) |
| 0134 0   | VMA(尿中)         |
| 0856 1   | HVA(尿中)         |
| 0136 4   | メタネフリン総         |
| 0137 1   | メタネフリン2分画       |
| 0133 2   | 5-HIAA(尿中)      |

| 変更箇所 | 新  | 現  |
|------|--|--|
| 材 料  | 蓄尿   | 酸性蓄尿   |
| 備 考  | 蓄尿の場合は、必ず所定用量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 | あらかじめ、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6N塩酸約1mLの割合で入れてください。酸性蓄尿されていないものはデータ低下が見られますので必ず酸性蓄尿(pH1.0~3.0)してください。 |

### 現試薬と新試薬の比較



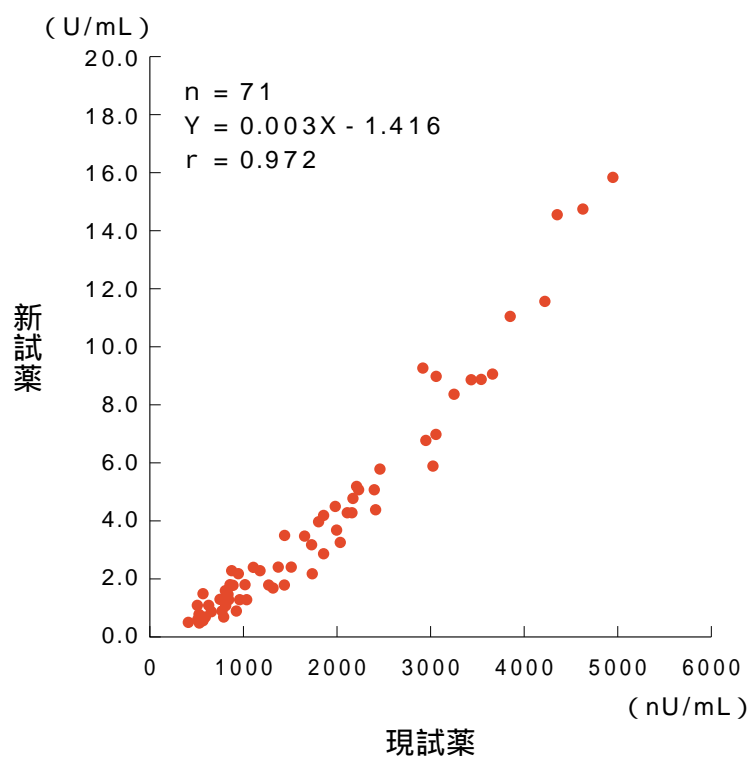


## 抗インスリン抗体

本検査におきまして、測定範囲の広い試薬に変更させていただきます。併せて項目コードNo.、項目名称、検査方法、基準値、単位、検体量、保存を変更させていただきます。

| 項目コードNo. | 検査項目     | 変更箇所     | 新            | 現                                 |
|----------|----------|----------|--------------|-----------------------------------|
| 6271 4   | 抗インスリン抗体 | 項目コードNo. | 6395 8       | 6271 4                            |
|          |          | 項目名称     | インスリン抗体      | 抗インスリン抗体                          |
|          |          | 検査方法     | RIA          | RIA PEG法                          |
|          |          | 基準値(単位)  | 0.4未満 (U/mL) | 結合率 0.4未満 (%)<br>濃度 125未満 (nU/mL) |
|          |          | 検体量      | 血清 0.3 mL    | 血清 0.4 mL                         |
|          |          | 保存       | 冷蔵           | 凍結                                |

### ▶ 現試薬と新試薬の比較



#### 新検査方法参考文献

内潟 安子, 他: 医学と薬学65(4): 525~530, 2011.

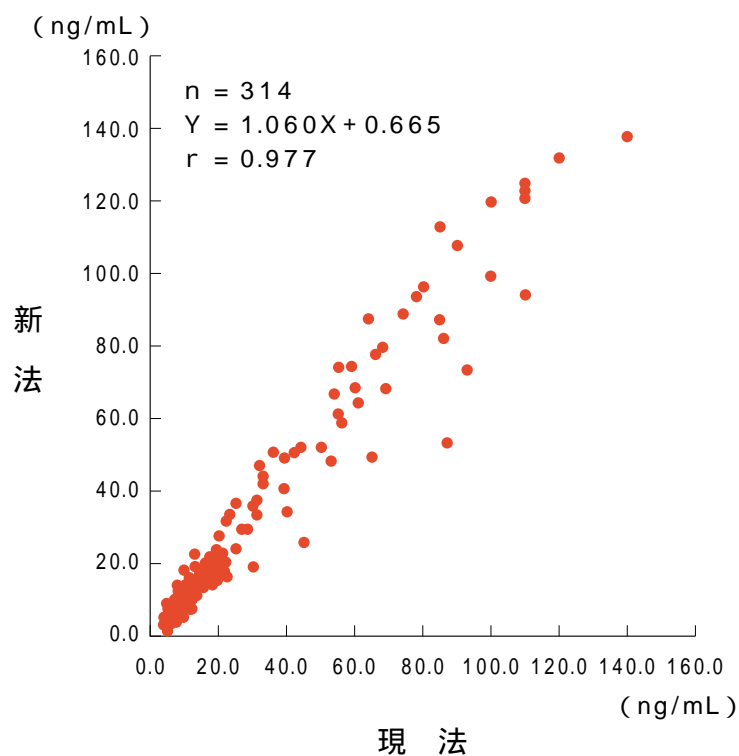
## NSE(神経特異エノラーゼ)

本検査におきまして、現試薬の発売中止に伴い代替Non-RIA試薬に変更させていただきます。

併せて、検査方法、基準値、保存、検体量、備考を変更させていただきます。基準値はメーカー設定値です。

| 項目<br>コードNo. | 検査項目               | 変更箇所        | 新   | 現   |
|--------------|--------------------|-------------|---|---|
| 0049 8       | NSE<br>(神経特異エノラーゼ) | 検査方法        | ECLIA   | RIA固相法  |
|              |                    | 基準値<br>(単位) | 16.3以下(ng/mL)   | 10以下(ng/mL)                                   |
|              |                    | 保存          | 冷蔵  | 凍結  |
|              |                    | 検体量         | 血清 0.5 mL   | 血清 0.2 mL                                     |
|              |                    | 備考          | 採血後、1時間以内に血清分離し冷蔵保存してください。溶血でのご依頼は避けてください。(溶血の場合、赤血球からNSEが逸脱して高値となります。) | 溶血でのご依頼は避けてください。(溶血の場合、赤血球からNSEが逸脱して高値となります。) |

### 現試薬と新試薬の比較



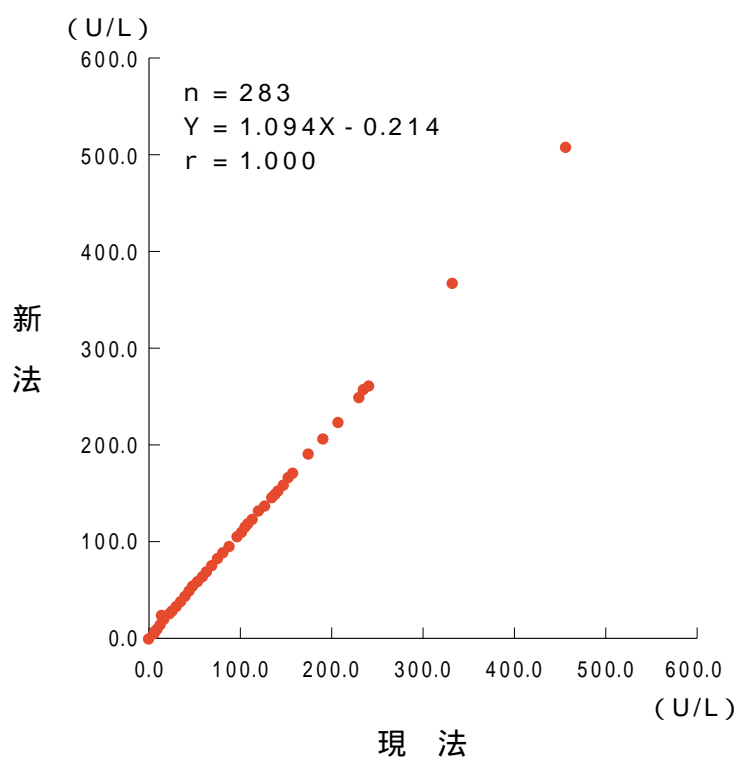


# アルドラーゼ

本検査におきまして、現試薬の発売中止に伴い、代替試薬に変更させていただきます。併せて検査方法、保存を変更させていただきます。

| 項目<br>コードNo. | 検査項目   | 変更箇所 | 新      | 現        |
|--------------|--------|------|--------|----------|
| 0434 1       | アルドラーゼ | 検査方法 | UV-酵素法 | UV-Rate法 |
|              |        | 保 存  | 冷蔵     | 絶凍       |

## ▶ 現試薬と新試薬の比較



### 新検査方法参考文献

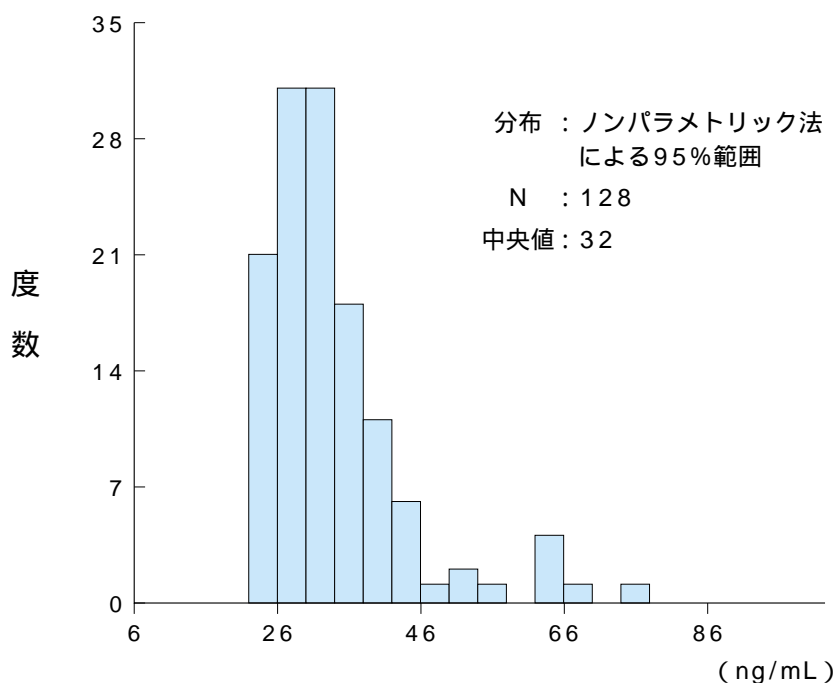
三浦 雅一, 他: 臨床検査機器・試薬12(5): 1005~1009, 1989.

# ビタミンB1

本検査におきまして、基準値を見直し、再設定をさせていただきます。

| 項目<br>コードNo. | 検査項目   | 変更箇所        | 新               | 現               |
|--------------|--------|-------------|-----------------|-----------------|
| 0025 8       | ビタミンB1 | 基準値<br>(単位) | 24 ~ 66 (ng/mL) | 20 ~ 50 (ng/mL) |

## ▶ 健常人分布



# ウイルス分離・ウイルス同定

本検査におきまして、液状検体が少量の場合の取り扱い方法を追加表記させていただきます。

液状検体(尿等)は、ウイルス専用保存液と等量混合してください。  
検体量が保存液より少ない場合、保存液は捨てずに、そのままご提出可能な量の検体を入れてください。


きちんとキャップを締めて冷蔵保存し提出してください。

# HLA検査

下記検査におきまして、少ない細胞数しか採取できない場合の検体取り扱いの目安をご案内いたします。

## 対象項目

| 項目コードNo. | 検査項目                |
|----------|---------------------|
| 6124 5   | HLA-A,B(血清対応型タイピング) |
| 6125 2   | HLA-DR(血清対応型タイピング)  |
| 2658 1   | HLA-A( DNAタイピング)    |
| 2663 1   | HLA-B( DNAタイピング)    |
| 6115 7   | HLA-C( DNAタイピング)    |
| 2605 2   | HLA-DPB1( DNAタイピング) |
| 2603 8   | HLA-DRB1( DNAタイピング) |
| 2869 1   | HLA-DQA1( DNAタイピング) |
| 2604 5   | HLA-DQB1( DNAタイピング) |

| 容器形態  | 採取量( mL )                 | 検体取り扱い方法  |
|---|---------------------------|---|
| (C)<br> | 血液<br>(EDTA-2Na加)<br>各2.0 | <p>左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。</p> <p>HLA検査2項目以上同時依頼の場合は血液2.0mLで検査可能です。</p> <p>ただし、<u>受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数<math>2 \times 10^6</math>個を最低限としてご提出ください。</u>白血球数(WBC)<u><math>1000/\mu\text{L}</math>を下回る受給者の場合は、血液2.0mL(C容器)を2本以上、または血液5.0mL(C容器)をご提出ください。</u></p> <p>本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。</p> |

# 主な変更後の検査内容一覧

検査方法の表記のみ変更する凝固項目は割愛させていただきます。

| 項目コード<br>(統一コード)  | 検査項目                 | 検体量<br>(mL)             | 容器          | 保存<br>(安定性) | 所要<br>日数        | 実施料<br>判断料            | 検査方法                          | 基準値(単位)  | 備考  |
|-------------------|----------------------|-------------------------|-------------|-------------|-----------------|-----------------------|-------------------------------|--|---|
| 0127 6<br>(4E010) | カテコールアミン総            | 蓄尿 3                    | Y           | 凍結<br>(28日) | 3~5             | 220<br>4              | HPLC                          | 52.0~195.3<br>(μg/day)   | 蓄尿の場合は、必ず所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。部分尿の場合、専用蓄尿添加剤は不要です。 |
| 0129 1<br>(4E016) | カテコールアミン<br>3分画      | 蓄尿 3                    | Y           | 凍結<br>(28日) | 3~5             | 190<br>4              | HPLC                          | アドレナリン<br>3.4~26.9<br>ノルアドレナリン<br>48.6~168.4<br>ドーパミン<br>365.0~961.5<br>(μg/day) |   |
| 0134 0<br>(4E060) | VMA                  | 蓄尿 1.5                  | Y           | 凍結<br>(28日) | 3~5             | 90<br>4               | HPLC                          | 1.5~4.3<br>(mg/day)  |   |
| 0856 1<br>(4E055) | HVA                  | 蓄尿 1.5                  | Y           | 凍結<br>(28日) | 3~5             | 70<br>4               | HPLC                          | 2.1~6.3<br>(mg/day)  |   |
| 0136 4<br>(4E025) | メタネフリン総              | 蓄尿 5                    | Y           | 凍結<br>(28日) | 3~5             | 240<br>4              | HPLC                          | 0.13~0.52<br>(mg/day)  |   |
| 0137 1<br>(4E040) | メタネフリン2分画            | 蓄尿 5                    | Y           | 凍結<br>(28日) | 3~5             | 240<br>4              | HPLC                          | メタネフリン<br>0.04~0.19<br>ノルメタネフリン<br>0.09~0.33<br>(mg/day)                         |   |
| 0133 2<br>(4E070) | 5-HIAA               | 蓄尿 1                    | Y           | 凍結<br>(28日) | 3~5             | 95<br>4               | HPLC                          | 1.0~6.0<br>(mg/day)  |   |
| 6395 8<br>(5G360) | インスリン抗体              | 血清 0.3                  | ↓<br>X      | 冷蔵          | 3~7             | 110<br>5              | RIA                           | 0.4未満<br>(U/mL)  |   |
| 0049 8<br>(5D410) | NSE<br>(神経特異エノラーゼ)   | 血清 0.5                  | ↓<br>X      | 冷蔵          | 2~4             | 150<br>4<br><b>腫2</b> | ECLIA                         | 16.3以下<br>(ng/mL)  | 採血後、1時間以内に血清分離し冷蔵保存してください。溶血でのご依頼は避けてください。(溶血の場合、赤血球からNSEが逸脱して高値となります。)     |
| 0309 7<br>(6B655) | ウイルス分離               | 検査案内<br>参照              | V           | 冷蔵          | 4~21            |                       | 細胞変性効果、<br>血球吸着現象、<br>赤血球凝集反応 |  | 検査案内参照  |
| 0434 1<br>(3B100) | アルドラーゼ               | 血清 0.5                  | ↓<br>X      | 冷蔵          | 2~4             | 11<br>3               | UV-酵素法                        | 2.1~6.1<br>(U/L)   | &ヨ  |
| 0025 8<br>(3G025) | ビタミンB1               | 血液 1.0<br>(EDTA-2K加)    | g1          | 凍結<br>(6ヶ月) | 3~5             | 270<br>3              | HPLC                          | 24~66<br>(ng/mL)   | &ヤ  |
| 0924 3<br>(2B045) | ヘパプラスチンテスト<br>(HPT)  | <b>速やかに遠心</b><br>血漿 0.5 | K<br>↓<br>X | 絶対凍         | 2~4             | 29<br>2               | 凝固時間<br>測定法                   | 70~130<br>(%)  | 採血後、速やかに血漿分離してください。   |
| 0905 0<br>(2B100) | フィブリノーゲン<br>(FIB)    | <b>速やかに遠心</b><br>血漿 0.5 | K<br>↓<br>X | 絶対凍         | 2~4             | 23<br>2               | 凝固時間<br>測定法                   | 150~400<br>(mg/dL)   |   |
| 8809 0<br>(5J062) | IL-1<br>(インターロイキン-1) | 血清 0.5                  | ↓<br>X      | 絶対凍         | 事前にご<br>確認ください。 |                       | ELISA                         | 10以下(参考値)<br>(pg/mL)   |   |
| C151 2            | 高感度TNF-              | 血清 0.5                  | ↓<br>X      | 絶対凍         |                 |                       | ELISA                         | 0.6~2.8(参考値)<br>(pg/mL)  |   |

2:血液学的検査判断料 3:生化学的検査( )判断料 4:生化学的検査( )判断料 5:免疫学的検査判断料

**腫2**:悪性腫瘍特異物質治療管理料の口.その他のもの